

第2回 小中学校の教育環境の 改善・向上に関する有識者会議

「学校教育環境整備の取り組みの課題」

神戸市教育委員会



第3期神戸市教育振興基本計画（令和2年度～令和5年度） 「明日につなげる新・こうべ教育プラン」

重点事業11 安全・安心で質の高い学校教育環境の整備（抜粋）

- ①学校の適正規模化
- ②学級増対策の推進
- ③学校施設の老朽化対策の推進
- ④学校施設の機能向上
- ⑤学校施設の異常高温対策

重点事業12 ICTの基盤整備と利活用の促進（抜粋）

- ①GIGAスクール構想の実現に向けた学校のICT学習環境整備の推進
- ②授業改善に向けた効果的なICT活用の促進

重点事業11 安全・安心で質の高い学校教育環境の整備

①学校の適正規模化

○小規模校対策

【取り組み】

- ・ 学校統合
- ・ 校区調整
- ・ 農村地域における魅力化・特色化

【主な課題】

- ・ 統合後の学校として十分な学校敷地や校舎の確保が難しい。
- ・ 統合に対する保護者や地域の理解を得ることが難しい。
- ・ 学校間の距離が遠い場合は、統合後の校区が広くなり、通学の負担が増す。
- ・ 歴史的経緯のある校区の変更に対する理解を得ることが難しい。
- ・ 関係者の意思形成や調整に多大な時間や労力を要する。
- ・ さらなる人口減少及び少子化により、学校の小規模化はますます進む見込み。

重点事業11 安全・安心で質の高い学校教育環境の整備

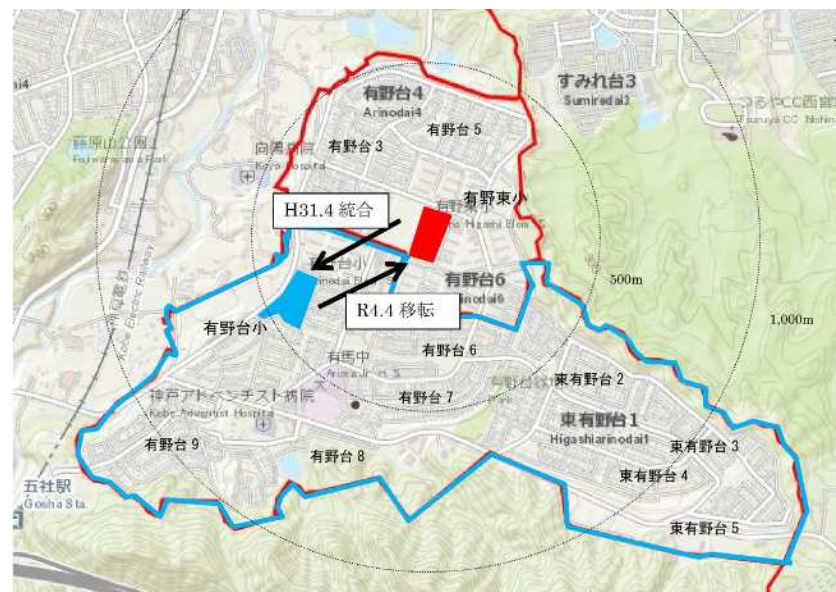
①学校の適正規模化

【取組例①：学校統合】

ありの台小学校

- ・有野台小学校と有野東小学校の2校の校区を校区として統合（平成31年4月）
- ・統合にあわせて老朽化対策（別掲）を実施するため、旧有野台小学校の校舎を利用して開校し、旧有野東小学校の校舎改修後に新校舎へ移転（令和4年4月移転完了）

統合前（H30）	学級数	児童数
有野台小学校	7	220
有野東小学校	7	177
統合後（H31）	学級数	児童数
ありの台小学校	12	371



ありの台小学校 校区

旧有野台小校区



旧有野東小校区



重点事業11 安全・安心で質の高い学校教育環境の整備

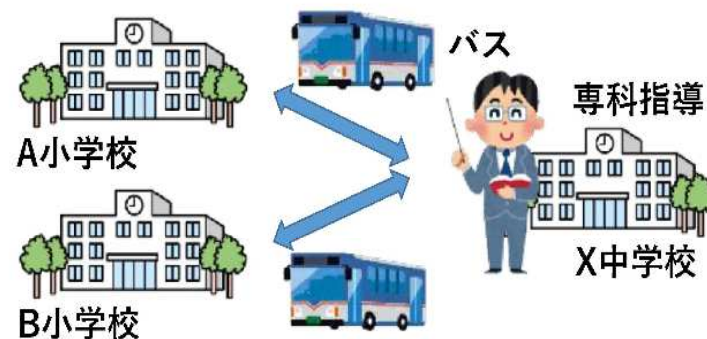
①学校の適正規模化

【取組例②：農村地域における魅力化・特色化】

淡河小学校・好徳小学校・淡河中学校における学園制の実施

- ・令和2年度より、淡河中学校に配置した英語専科教員により、淡河小学校・好徳小学校の高学年への英語指導や中学年への外国語活動を実施。3校の連携による義務教育9年間を通じた教育活動を推進。
- ・ともに授業を受け、学び合う場を作り出すため、ICTを活用し、一方の小学校での英語授業を、もう一方の小学校へ実況するオンライン授業を実施。
- ・今後、定期的に3校の児童生徒が集まり、合同での授業や行事の実施等も計画中。

※令和4年度より、押部谷小・月が丘小・北山小・高和小、押部谷中においても学園制を開始。



重点事業11 安全・安心で質の高い学校教育環境の整備 ②学級増対策の推進

○学級増対策

【取り組み】

- ・ 分離新設
- ・ 校区調整
- ・ 校舎増改築・暫定校舎の整備

【主な課題】

- ・ 市街地では学校の新設が可能なまとまった土地の確保が難しい。
- ・ 歴史的経緯のある校区の分離や変更に対する理解を得ることが難しい。
- ・ 校舎の増築等により運動場が狭くなる場合がある。

重点事業11 安全・安心で質の高い学校教育環境の整備 ②学級増対策の推進

【取組例】

高羽小学校：校舎増築（令和4年4月供用開始）

- ・ 隣接の児童館跡地と学校敷地を一体利用して新校舎を建築（児童館は近隣の市営住宅跡地に移転）
- ・ 隣接の公園の一部を専用利用することにより運動場を拡張（市営住宅跡地に公園の代替広場を整備）
- ・ 新校舎建築に伴って暫定校舎を解体（運動場に復元）

★教室保有数

35教室 ⇒校舎増築後：46教室



高羽小学校増築棟 概要

鉄骨造2階建、延床面積 約1,412㎡
普通教室12、図工室兼学習室1、学習室1

重点事業11 安全・安心で質の高い学校教育環境の整備

③学校施設の老朽化対策の推進

○学校施設の長寿命化

【取り組み】

- ・ 外壁改修工事（躯体のひび割れ、脆弱部分の補修等）
- ・ 屋上防水改修工事、屋根改修工事
- ・ 内装改修工事（普通教室、体育館の床改修等）
- ・ 付帯設備の更新・改修工事（水道、電気、ガス管等のライフライン関係）

【主な課題】

- ・ 築30年以上経過している校舎が約6割と、対象となる校舎が非常に多い。
- ・ 大規模工事は学校活動への影響が大きく、工事中の学校運営に関する調整が必要となる。
（夏休みに工事を行うなど工期や工事内容に制限がある）

重点事業11 安全・安心で質の高い学校教育環境の整備

③学校施設の老朽化対策の推進

【取組例】

ありの台小学校：長寿命化改修



【改修前】



【改修後】

重点事業11 安全・安心で質の高い学校教育環境の整備

④学校施設の機能向上

○バリアフリー対策

【取り組み】

- | | |
|----------------|------------------|
| ・エレベーターの設置 | 対象：要配慮児童が在籍する学校 |
| ・車いす使用者用トイレの設置 | 対象：避難所に指定されている学校 |
| ・スロープ等による段差解消 | 対象：各学校 |

【主な課題】

- ・エレベーターについては、既存の校舎への設置が構造上難しい場合がある（要配慮児童が在籍する学校には全て設置済）。
- ・車いす使用者用トイレは、通常のトイレより大きく、設置スペースを確保することが難しい。
- ・段差解消について、敷地内で高低差がある学校においては、設置計画が難しい。

重点事業11 安全・安心で質の高い学校教育環境の整備

④学校施設の機能向上 ・ ⑤学校施設の異常高温対策

○その他機能向上対策

【取り組み】

- ・ トイレの洋式化 ⇒ 令和3年度に全校で洋式化完了
- ・ 手洗いの自動水栓化 ⇒ 令和3年度完了
- ・ 照明設備のLED化 ⇒ 令和4年9月末までに完了予定

○空調設備の設置

【取り組み】

- ・ 普通教室に空調設備設置 ⇒ 平成27年度完了
- ・ 体育館・特別教室に空調設備設置 ⇒ 順次整備を進める予定（令和5年度完了予定）

重点事業12 ICTの基盤整備と利活用の促進

①GIGAスクール構想の実現に向けた学校のICT学習環境整備の推進

○ICT環境整備

【取り組み】

- ・ 普通教室・特別教室に無線LANの設置 ⇒ 令和2年度完了
- ・ 小中学校の1人1台の児童生徒用PC(タブレット)及び
高速大容量の通信ネットワークの整備 ⇒ 令和2年度完了
- ・ 普通教室に電子黒板機能付プロジェクタ、実物投影機の設置 ⇒ 令和3年度完了
- ・ 理科室に電子黒板、図書室に無線LANの設置 ⇒ 令和4～5年度に予定

重点事業12 ICTの基盤整備と利活用の促進

②授業改善に向けた効果的なICT活用の促進

○ICTの活用

【取り組み】

- ・ 児童生徒、教員ともに操作方法の習得は進んでおり、授業等でのICTの効果的に活用に取り組んでいる。
- ・ ICTを活用した指導案の共有化や「GIGA授業づくり通信」を通じた好事例の発信に取り組んでいる。
- ・ これまで行ってきたオンラインによる学習支援の対応状況の把握、検証を行っている。

【主な課題】

- ・ 学校間、教員間でICTスキル等に差が生じている。
- ・ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、ICTの効果的な活用方法を模索している。
- ・ オンラインによる学習支援の検証を踏まえた対応を進めていく。
(保護者向けの資料や学校への効果的な実施モデルの提供)

Good Idea and Great Action!! 令和3年7月版
【神戸GIGA授業づくり通信】第17号

学校が水泳館に?
GIGA スタース種型の取組の一つに、「学校外とのつながりをつくること」があるかと思えます。「実際にどうしたらよいか?」と悩んでいる先生も多いと思います。今回は、若宮小学校のオンライン授業の実践を紹介します。神戸市立瀬陽南浜水泳館(スマスイ)とコラボした授業です。

1. キャリア教育にもつなげる
6年生の総合的な学習の時間の授業です。「イルカトレーナーの仕事」という内容で、スマスイのイルカトレーナーの方が話をしました。

上の写真が実際の様子です。左側がイルカトレーナーの方、右側が教室の様子を映したものです。
途中からは、用意してくださったスライドを使い、イルカトレーナーの仕事についてわかりやすく説明をしてくださいました。

今回は、キャリア教育の一環として総合的な学習の時間に組み込みましたが、生活科や理科の授業とも連携できるのではないかと期待が膨らみます。

2. 子供が夢中になった場面は?
そんな授業の中で、子供たちがより一層夢中になって考えた場面がありました。それが次の写真の様子です。どんな場面かわかりますか?

お話しタイムや質問コーナーのときに、子供たちは夢中になって考えたり、「ハイ、ハイ!」と元気に手をあげたりしていました。
この子供たちの姿は、私たちの授業でも同じではないでしょうか。教師の話を聞くだけでなく、どうやって子供が夢中になって思考する場面をつくらねば、授業づくりにもつなげていきましよう。

今回の取組について、スマスイの中組内閣長からコメントをいただいております。

現在のコロナ禍の環境下、昨年より水泳館としてこれまでどおりのお客様対応などができず難しいことを何とかならないかと模索しておりました。その中で昨年秋より水泳館の社会的使命の一つである「教育」において現在の環境である“オンライン”を活用した仕組みを検討してきました。今回、若宮小学校の先方の方にこの仕組みをご相談したところ快くお受けいただきオンライン授業の開催となりました。まだまだ未探りの所もありませんが今後もオンライン授業が発展できるよう職員一同努力してまいります。(中略)

お問い合わせがあれば、ご連絡ください!
担当：教科指導課 土井、宮崎 電話：864-0808

重点事業12 ICTの基盤整備と利活用の促進 ②授業改善に向けた効果的なICT活用の促進

○ICTの活用

【取組例】

- ・オンライン国際交流（八多中学校）

八多中学校の1、2年生が、インドネシアの子供たちとオンラインで交流をした。





United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



City of Design
KOBE

- Member of the UNESCO
- Creative Cities Network
- since 2008
-

